

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)山陽マルナカ大東店	階数	地上2F
建設地	大阪府大東市寺川三丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	6,400時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2014年6月10日
敷地面積	5,233㎡	作成者	薄井 克英
建築面積	2,973㎡	確認日	2014年6月10日
延床面積	2,643㎡	確認者	薄井 克英

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (160 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 86% (137 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 86% (137 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 86% (137 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	景観・緑化・福祉・省エネ法等の法令条例の適合基準値を、建築条件(配置平面計画・建築コスト等)が許す限り採用した。	
その他		
Q1 室内環境	日射量削減のため、窓(ガラス)部分は法的要件を満たす以外に無駄に設置しない。設置部分は庇を設置し、日射量を抑える。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	ハートビル法及び福祉のまちづくり条例への適合。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	緑地帯及び緑化駐車場の採用。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	照明反射率の高い床材の採用による照明器具(照度)の削減。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	内装仕上・建材は全てF☆☆☆☆を使用。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	隣地境界に沿った緑地帯(高木・中木)の設置及び壁面緑化の採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)山陽マルナカ大東店		
	建設地	大東市寺川三丁目132-1、132-4、132-5、133-1、134、135、1098、1099、1100		
	用途/区分	物販店		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	3
		住戸・宿泊		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.1	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				